

ステレオ時代

STEREO GENERATION neo

Vol.11

良い音をもっと、もっと楽しく。
1970～80年代の国産オーディオを中心に
楽しむための雑誌です。



拝啓

貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご厚情を賜り、誠に感謝いたしております。

弊社では、1970～90年代の国産オーディオを楽しむ尽くすシリーズとして、「ステレオ時代neo」を発行しております。当時名機と言われたコンポの開発秘話、最近再注目されているラジカセやカセットテープの話題など、かつてのオーディオ・ブームを知る人なら胸熱、知らない人なら新鮮なページ満載です。70年～80年代の国産オーディオ関連のビジネスを展開されているクライアント様においては、是非宣伝媒体としてご活用くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

【特集】日本生まれのフィリップスLHHシリーズ、誕生秘話

未だに人気が高いCDプレーヤー、LHHシリーズ。CDプレーヤーの原器とも言われるLHH2000、そして日本マランツで開発されたLHH1000以降の名機たち。マランツブランドのCDプレーヤーとは違うキャラクターを与えられたLHHシリーズはいかにして誕生したのか。その歴史と誕生のストーリーに迫る。



トリオ高級チューナーの異端児、L-01T 開発にまつわる謎に迫る

1979年に登場し、現在も高い人気を誇るFMチューナー、トリオL-01T。名機が揃うトリオの高級チューナーの中でも、デザイン、構造はどのモデルにも似ていないユニークなもの。しかし使えば使うほどよく練られた操作性と性能に感心する。この異端児、L-01Tはいかにして誕生したのか。また現在でもその実力は通用するのか。



※企画内容は変更となる場合がございます。

■ 主な企画内容 ■

国産カセットテープ 60周年記念 カセットの進化を支えた日本メーカーたち

1966年、カセットテープ企画が誕生した翌年、日本でもカセットテープの生産がスタートした。それから来年で60年。もともとメモ録用として作られたカセットテープは、日本メーカーの開発競争の末、オープンリールに迫る性能を実現していった。今回は各メーカーの一号機たちを取り上げる。



その他、オーディオブーム世代に刺さる、
・アナログオーディオ、カセットテープ、ラジカセなど懐かしいネタ
・今時の「プチプラ」オーディオなど、他誌では読めない企画が満載です！

株式会社 三栄 第一営業企画局
〒163-1126 東京都新宿区西新宿6-22-1
新宿スクエアタワー26F
email : koukoku_01@san-ei-corp.co.jp

SAN-EI CORPORATION

ステレオ時代neo vol.11

体裁：B5正寸 オールカラー 144P

定価：1870円（本体1700円＋税）

発行部数：3万部 発行形態：ムック

発売日：2025年12月5日 発売予定

⇒広告オーダー締切 2025年11月7日(金)

2026年のステレオ時代NEOも年4回の発行を予定しております。

■ 広告定価料金表／原稿サイズ ■

掲載料金(税別)	原稿寸法(mm)	原稿締切日
¥800,000	210 × 167	入稿締切日
¥700,000	257 × 182	
¥650,000	257 × 182	11/17(月)
¥600,000	257 × 182	
¥300,000	110 × 150 (※)	(※) 枠付き